

第2学年家庭科学学習指導案

指導者(家庭領域専攻) ○○○○

(指導担当教員 ○○○○)

1. 日時 ○○年9月19日(金曜) 第2校時(9:45~10:35)

2. 学年・組 第2学年1組 計40名

3. 場所 第2学年1組 教室

4. 単元名 衣生活をつくる

5. 単元の目標

- ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。(知識及び技能)
- ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理ができる。(知識及び技能)
- ・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する。(思考力・判断力・表現力等)
- ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

6. 単元について

①教材観

高度経済成長期以降、既製の大量生産、大量消費が始まり、現在では膨大な量の衣服が流通している。衣服は世界中から輸入され、安価で丈夫なカジュアル衣料や高価なブランド商品が普及するとともに、目まぐるしく変化する流行によって衣服の使用期間はその耐用年数に比べて著しく短い。使用できる衣服が大量に廃棄されている。一方、衣服の手入れについてみると、多量の洗剤を使用したり、汚れたから洗うのではなく、着用したら洗ったりというように必要以上に洗濯をしている実態がある。

しかし、地球環境問題の悪化により、衣服の大量廃棄や必要以上の洗剤の使用、多量の洗濯排水といった生活スタイルを見直す時代に入っている。限りある資源を有効に活用するためには、適切な衣服の購入や洗濯および保管についての知識や技能の習得が不可欠であり、環境に配慮した生活を実践することが求められている。

そこで、本単元では、生徒が衣服の表示の意味を理解し購入の際には表示を確認して適切な選択ができるようにするとともに、洗濯については洗淨の科学と洗濯排水が環境に及ぼす影響について理解し、衣料資源のリサイクルや環境に配慮した洗濯について考え実践できるようになること、さらに、すべての人々が快適な衣生活を送るために衣服の安全性および障害のある人や高齢の人々のためのユニバーサルデザインについて理解することをねらいとする。

②生徒観

本クラスの生徒は、衣服の購入については多くの生徒が自分で購入しているが、流行やデザインを重視し、材質、性能、サイズ、手入れの方法などの情報についての関心は薄い。また、表示についての知識は十分ではなく、洗濯や保管に関しては家族に任せている場合が多いと考えられる。

生徒の多くは快活で友人関係も良好である。グループ活動では積極的に意見を出し合うなど、意欲的に取り組む。したがって、自分の所持している衣服を点検し、気づいたことをグループでまとめることも積極的に行うものと思われる。知的好奇心の強い生徒が多いので、洗濯については洗浄の仕組みについて科学的側面からも十分に考察できるであろう。

③指導観

第一次では、私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解させるとともに、用途に合った着装を実践できる力を身につけさせる。このために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解させる。

第二次では、最初に自分の衣生活を点検させる。事前にチェック表を配布し、衣服の所持数と利用状況、補充の必要性などについて調査させる。それをもとにグループで気づいた点を話し合い、全体で発表させ、衣服を購入する際に注意する点について確認させる。次に、体操服の表示を確認させ、教科書を参照して表示の意味について調べ記入させる。さらに、ワークシートを使用して表示の種類と意味を確認し、購入の際には表示を読み取って情報を収集し適切に判断することの重要性について理解させる。

第三次では、洗濯の種類と洗剤の種類やその働きについて理解させる。最初に、湿式洗濯と乾式洗濯の違いについて考えさせ、ドライクリーニングなどの商業洗濯に出す際の注意点を確認させる。次に、湿式洗濯について、洗剤の種類と特徴をプリントや教科書の表から確認し、ビデオ教材を使用して界面活性剤を中心にその科学的メカニズムについて理解させる。最後に、洗濯の手順や注意点について理解させる。

第四次では、衣服資源のリサイクルについて考えさせる。第一次の学習で使用したチェック表をもとに使用していない衣服の活用方法についてグループで話し合い、発表させる。次に、社会全体の衣服資源のリサイクルについて、その実態を押さえ、自分のできることと社会全体で取り組むべきことを考えさせる。さらに、洗濯についても環境に及ぼす影響について理解させ、自分の生活や社会全体で取り組むべきことを考えさせる。次に、事前に高齢の家族や近隣の高齢者に対して、「衣服で困っている点」について聞き取り調査をさせる。それらの結果をグループで話し合い発表させ、高齢者の衣服について考えさせる。新聞記事や教科書からユニバーサルデザインや衣服の安全性について理解させ、すべての人が快適な衣生活を行うために必要な点について考えさせる。

7. 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・集整理ができる。・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

8. 指導と評価の計画（全5時間）

次	時	ねらい・学習活動	評価基準・評価方法
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ・社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴についてグループで話し合い発表する。 ・被服の役割について整理しワークシートに記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について気づき、グループでまとめ発表することができる。 ・社会生活を営むうえでの被服の役割を理解している。 ・グループごとの話し合い活動や発表に用いたワークシート。 ・行動観察。
第二 次	1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・自宅で自分の衣生活を点検調査する。グループで気づいた点を話し合い発表する。 ・体操服の表示を確認してワークシートに記入し、購入の際には表示に書かれた情報を正しく読み取って判断することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で自分の衣生活を点検調査し、グループで気づいた点を話し合い発表することができる。 ・衣服の表示に書かれた情報を正しく読み取って判断することができる。 ・グループごとの話し合い活動や発表に用いたワークシート。 ・行動観察。
第三 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ・洗濯および洗剤の種類やその働きとともに、洗濯の手順や注意点について理解する。 ・ビデオ教材を視聴して界面活性剤の科学的メカニズムについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湿式洗濯と乾式洗濯の違いについて理解している。 ・洗濯の手順や保管方法などの注意点について理解している。 ・ビデオ教材の視聴を通して界面活性剤の科学的メカニズムについて理解している。 ・ワークシート。 ・行動観察。
第四 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。 ・使用していない衣服の活用方法についてグループで話し合い発表する。 ・衣服資源のリサイクルについて自分のできることと社会全体で取り組むべきことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない衣服の活用方法についてグループで話し合い発表することができる。 ・衣服資源のリサイクルについて自分のできることと社会全体で取り組むべきことを理解している。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての人健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。 ・高齢者に対して「衣服で困っている点」について聞き取り調査を行い、グループで高齢者の衣服について考え発表する。 ・新聞記事や教科書などの記述を通じて、ユニバーサルデザインや衣服の安全性について理解し、すべての人が快適な衣生活を行うために必要な点について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに基づき高齢者に聞き取り調査を行い、考察し発表することができる。 ・新聞記事や教科書などの記述を通じて、ユニバーサルデザインや衣服の安全性について理解し、すべての人が快適な衣生活を行うために必要な点について考えることができる。 ・グループごとの話し合い活動や発表に用いたワークシート。 ・行動観察。
---	--	--

9. 本時の学習

①本時の目標

- ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。(知識及び技能)
- ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、衣服の材料や性能、加工について科学的に理解する。(知識及び技能)

②本時の展開

(次ページに記載。)

③板書計画

<p>衣服の購入</p> <p>1 衣生活を点検しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> * 問題点をまとめてみよう ・ 死蔵品が多い。 ・ 衝動買いが多い。 ・ 流行のものは着用期間が短い ・ 洗濯機でいたんでしまった ・ サイズが合わない服が多い。 <p>2 衣服の入手</p> <ul style="list-style-type: none"> * 衣服を購入するときに注意する点 ・ 表示をみる。 ・ サイズを確認する。 ・ 試着する。 ・ デザインや縫製をみる。 ・ 価格をみる。 	<p>3 衣生活と表示</p> <ul style="list-style-type: none"> * 体操服の表示を確認しよう <p>組成表示、取扱い絵表示、サイズ表示 原産国表示、表示者の表示、その他の表示</p> <p>4 様々な表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律 家庭用品品質表示法、消防法 不当景品類および不当表示防止法 ・ JIS 日本工業規格 ・ ISO 国際標準化機構 ・ デメリット表示
--	---

④準備物

チェックシート、ワークシート、体操服

⑥資料など

ワークシート、ワークシートの解答

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援 (教師の活動)	評価方法
導入 3分	1 前時の学習の復習 ・衣服の役割についての復習。	○「今回は衣服の役割について学習しました。教科書で確認しなさい。」 ・衣服の役割について確認させる。	
展開 44分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">衣生活を点検し入手方法や衣服の表示について考えよう</p> <p>2 本時の内容を知る。 ・チェックシートから自分の衣生活の問題点を考える。 ・グループで話し合い、まとめる。 ・着用していない衣服が多い。 ・同じ服ばかり着ている。 ・サイズが合わない。 ・流行おくれの服は着ていない。</p> <p>3 衣生活の問題点について考える。 ・グループで話し合ったことを発表する。 ・死蔵品が多い。 ・衝動買いが多い。 ・流行のものは着用期間が短い。 ・洗濯でいたんでしまった。 ・サイズが合わない服が多い</p> <p>4 衣服の購入について考える。 ・衣服を購入するときに注意する点を考える。 ・表示をみる。 ・サイズを確認する。 ・試着する。 ・デザインや縫製をみる。 ・価格をみる。</p> <p>5 表示について考える。 ・表示をみてノートに記入する。 ・意味を考え、教科書などで確認して記入する。 ・組成表示、取扱絵表示、サイズ表示、原産国表示、表示者の表示、その他の表示について確認する。</p> <p>6 表示の種類と意味を理解する。 ・説明を聞き、ワークシートに記入する。 ・ISO表示とJIS表示の違いについて理解する。</p>	<p>○「今回は衣服の購入について学習します。配布したチェックシートを出しなさい。自宅で自分の衣服をチェックしましたか。チェックしていない人はわかる範囲で記入しなさい。」 ・チェックシートに記入できているか確認する。</p> <p>○「グループの意見を発表しなさい。」 ・購入方法に問題があることを気づかせる。</p> <p>○「衣生活を点検することで衣服の購入に問題があることが確認されました。次に、購入の際に注意すべき点を発表しなさい。」 ・表示について気づかせる。</p> <p>○「表示を確認するという意見が出ましたが、体操服の表示を確認しなさい。その記号と意味をノートに記入しなさい。」 ・忘れた生徒はグループで確認させる。 ・中学校での学習と結びつける。 ・教科書で確認させる。</p> <p>○「今、確認した表示以外にも多くの表示があります。それらについてワークシートで確認しながら説明します。」 ・ワークシートを配布する。 ○「説明を聞き、ワークシートの空欄に記入しなさい。」 ・JIS表示、ISO表示について理解させる。</p>	<p>・自分の衣生活について、問題を見い出して課題を設定しているか。 ・チェックシート ・行動観察</p> <p>・衣生活の問題点について気づき課題の解決に主体的に取り組もうとしているか。 ・チェックシート ・行動観察</p> <p>・衣服の購入について、注意する点を理解しているか。</p> <p>・表示について確認し理解しようとしているか。 ・行動観察</p> <p>・表示について理解しているか。 ・ワークシート</p>
まとめ 3分	7 まとめ ・ワークシートを完成させる。 ・次時の内容を聞く。	○「ワークシートのすべての空欄に記入できましたか。質問のある人は挙手しなさい。」 ・質問に答える。 ○「次の時間は衣服の手入れについて学習します。」	・ワークシートを完成し、内容を理解したか。 ・ワークシート